



大綱米プロジェクト・田植え



5月22日、今年も大綱米プロジェクトが始動しました。2月に行われる刈和野の大綱引きでは、毎年、たくさんの稲わらが必要になります。高齢化で稲作農家の減少や、後継者不足が問題になっていますが、伝統を引き継ぐために、地域の皆が一つになって取り組み盛り上げていくためにこのプロジェクトが発足しました。西仙北高校も、田植え・稲刈り・綱よい・祭りと地域と関わりながら少しでも貢献したいと思っています。大綱ファームの方々はとても親切に教えてくださり、本当に感謝です。この日の天候は薄曇りで風もありましたが、田んぼの中は暖か〜！秋には実った新米を食べるのも楽しみです。

みんな笑顔がはじけています。3年生は、着ているものが汚れると大変なので、汚さないよう行動していました。でも、(右写真)裕紀くん、ああ〜、この後どうなったでしょうか。泥んこにならなければいいんですが…。脇で見ている山下くんは、にやけています。

↓山下くん、人を笑っている場合ではありません。顔にはねた泥がかゆくて、ムズムズ。でも、搔けない…



田植えが進んでいくと、あぜ道から苗の束をやりとりするのでも大変。苗の束を田んぼの中心まで運びます。田植えを経験したことがある人も多く、植えるスピードが速い！あつという間に小さな苗で田んぼが埋め尽くされました

夏井くん、ちょっと恥ずかしそう。泥で汚れていたら、バスの中を汚さないように気をつけてというお願いでした



5月
田植え

9月
稲刈り

1月
綱よい

2月
大綱引き